

OPヨットレースでの『ハタ』(旗・フラッグ)の使われかた

YJYC2001.06

レースにつかう信号は目でみるハタで指示される。
 ホーンなどは、あくまでハタの注意のためにならすもの。
 時計のカウントもハタのあげ↑・さげ↓ではじまる。
 ホーンがズレたり鳴らなかった場合でも、ハタの合図が正しい時計カウント。

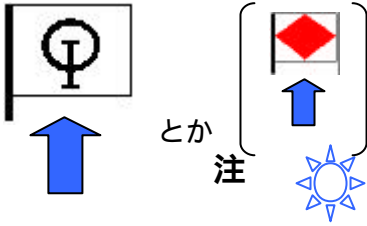
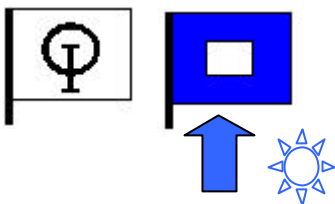
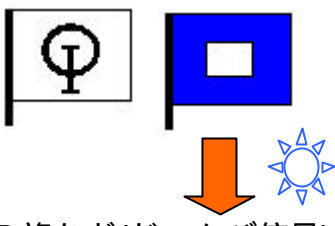
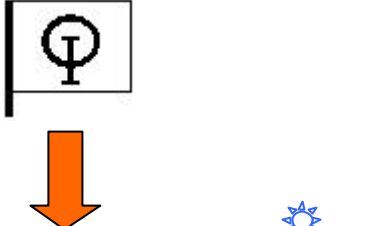


《ハタにあわせて時計をセットして『ピッタシのスタート』をしよう》

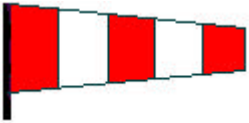
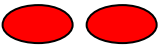
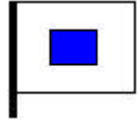
実際のレースでは、ハタの使いかたがちがうことがあるので、『そのレースの帆走指示書』をたしかめて下さい。

時計あわせのタイミングをマークしてあります。

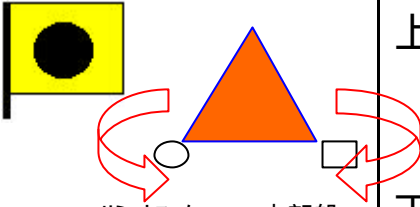
■ スタートでのおもなハタ

ハタ	ホーン	使われかた
 クラス旗(よこく信号)	 5 分まえ	あがったとき、クラス旗で指示されたクラスの スタートの 5 分まえ 注: クラス旗は、クラスを分けてスタート(A・B など)のときはクラスごとに別に指示されるときがある
 P 旗など(じゅんび信号)	 4 分まえ	あがったとき、クラス旗で指示されたクラスの スタートの 4 分まえ P 旗のかわりに→  旗・Z 旗・黒色旗のときもある
 P 旗など(じゅんび信号)	 1 分まえ	さがったとき、クラス旗で指示されたクラスの スタートの 1 分まえ
	 スタート	クラス旗がさがるとスタート時刻 スタート つづけてつぎのクラスのスタートが行われるとき、 つぎのクラスのクラス旗 があがる

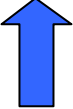
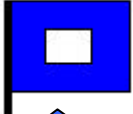
■ スタートのまえにあがるハタ

ハタ	ホーン	使われかた
 A P 旗(かいとう旗)	上げ：2  下げ：1 	そのレースの えんき をあらわす この ハタ がさがったら 1分後にクラス旗 があがる あらたなスタートのじかんを知るチャンスはこの ハタ がさがるときなので 選手は この旗のさがりによく注意 をする
 L 旗	上げ：1 	海上であげられたとき、 声のとどくはんい に 集まれ あげた船がうごいていれば、 その船についてこい ホーンを鳴らして注意をうながすばあいもある
 S 旗(コースたんしゅく信号)	上げ：2  下げ：1 	スタートラインであげられた場合は、『帆走指示書』で指示された 短縮コースをはしりなさい 回航マークやフィニッシングラインであげられた場合は、 その船とマークの間でフィニッシュ となる。(周り込まないでフィニッシュ、もし回り込んだ場合そこからラインを横切ればOK)

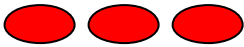
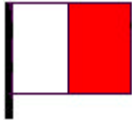
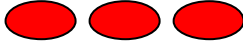
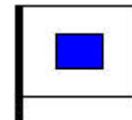
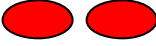
スタート規定 『帆走指示書』でどのようなときに、使うか指示される場合が多い

ハタ	ホーン	使われかた
 リミットマーク 本部船 旗(ラウンド・アン・エンド・スタート規則) 1分まえ 	上げ：1  下げ：1 	そのスタートが ラウンド・アン・エンド・スタート スタートの 1分まえ よりスタートまでのあいだに、 スタートラインおよび マークより本部船・リミットマークを結んだ エリアにはいったレース艇 はどちらかのエンドを回ってラインの両脇からスタートしなければならない ハタ はホーンとともに 1分まえ にさがる
 黒色旗 1分まえ 	上げ：1  下げ：1 	そのスタートが 『1分間ルール』黒色旗規則のてきよう スタート1分まえより『ラウンド・ジ・エンド』とおなじエリアに入った艇は失格 かいしょう のてではないので ちゅうい！！ このばあい、スタートでのリコール艇はもちろん1分間ルールにいはんの艇は失格となる また X旗もあがらない ハタ はホーンとともに 1分まえ にさがる

■ スタートのあとにあがるハタ

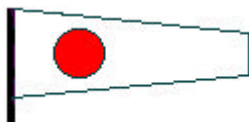
ハタ	ホーン	使われかた
  第一代表旗(ゼネリコ信号) 5 分まえ     	上げ：2   下げ：1 	そのスタートが ゼネラルリコール のとき この ハタ がさがるときは、入れかわりにあらたにスタートするクラスの クラス旗があがる 又はあがっている (<u>5 分まえ</u> となる) したがって、その 1 分後に P 旗 など (4 分まえ) があがる
このあとは ■ スタートでのおもな ハタ の手順とおなじ		
4 分まえ    	上げ：1 	P 旗などがあがり 、クラス旗で指示されたクラスのスタートの 4 分まえ
ゼネリコのあとのスタートではよく『ラウンド・アン・エンドスタート』 や 『1 分間ルール』→失格  になるばあいがあるのでちゅうい これらについてはスキippers・ミーティンや『帆走指示書』でチェック		
  X 旗(リコール信号)  	上げ：1  下げ： ナシ	スタートで リコールあり のとき リコール艇がすべて カイショウ すれば さがる リコール艇がすべて カイショウ しなくてもスタートのあと 4 分でさがる

■ そのほかのおもなハタ

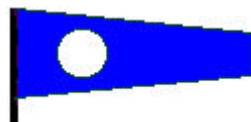
ハタ	ホーン	使われかた
 N 旗(中止信号)	上げ：3  下げ：1 	スタート信号後に単独で揚げられた場合、 そのレースが中止 ほかの旗と組み合わせて揚げられた場合、中止のあとの手順がしめされる
 H 旗(待機信号)	上げ：3  下げ：	ハーバーにかえれ N旗(中止信号)やA P 旗(回答旗)などとあわせて揚げられる場合がある
 C 旗(コース変更信号)	上げ：断続音  下げ：1 	『このマークを回航後つぎのマークへのコースは変更された』 この場合、つぎのコースが必ず選手に知らされるので運営船に注意して忘れずに確かめる
 S 旗(コース短縮信号)	上げ：2  下げ：	回航マークやフィニッシングラインで揚げられた場合は、 その船とマークの間でフィニッシュ となる。(周り込まないでフィニッシュ、もし回り込んだ場合そこからラインを横切ればOK) スタートラインであげられた場合は、『帆走指示書』で指示された 短縮コースをはしりなさい
 B 旗(抗議信号)	相手に声をかける (OP では旗と旗の↑↓はナシ)	レース中に起こった規則違反に対して抗議しようとする艇(抗議艇)はケース後相手に "プロテスト"("抗議")と声をかける 。 (2001 年ルールから長さ 6 m 以下の艇は、B 旗を掲げる必要はなくなりましたが、レースの委員会が B 旗を指示する場合があります)

数字旗

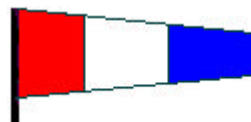
数字旗は単独では数字以外の意味をもたず、ほかの旗と組合わせて補足する場合に使われる。また、ブイにつけて回航マーク・アウターを表す場合もある。



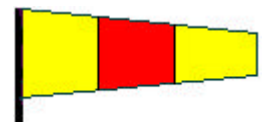
数字旗(1)



数字旗(2)



数字旗(3)



数字旗(0)